

朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）

羅先市が特別市に

2010年1月4日付『朝鮮中央通信』によると、同年1月4日、北朝鮮の最高人民会議常任委員会は羅先市を特別市とする内容の政令を出した。羅先市は中国・琿春市、ロシア・沿海地方ハサン地区と隣接する、北朝鮮で最も歴史の長い経済特区である。

内閣全體會議拡大會議開催

2010年1月29日発、『朝鮮中央通信』によると、同日、内閣全體會議拡大會議が行われた。内閣総理の報告によると、昨年の工業生産計画は3%超過遂行され、一昨年と比べて11%成長した。石炭工業、金属工業、機械工業、化学工業、建材工業、軽工業、林業など各部門の主要現物指標の生産量と鉄道貨物輸送量も大幅に増えた。

朝中間で鴨緑江国境橋の共同建設及び管理並びに保護に関する協定が締結

2010年2月26日発『朝鮮中央通信』によると、北朝鮮と中国の両政府間の鴨緑江国境橋の共同建設及び管理並びに保護に関する協定が同2月25日、中国の丹東市で締結された。

南北経済協力の動向

(1) 南北交易額

韓国・統一省が2009年の南北交易額を発表した。表1のとおり、2009年の南北交易は、16億7,908万ドル（約1,511

(表1) 2009年の南北交易統計

(単位：1,000米ドル)

年度	搬入			搬出			合計
	計	委託加工搬入	開城工業団地搬入	計	委託加工搬出	開城工業団地搬出	
1989	18,655	0	0	69	0	0	18,724
1990	12,278	0	0	1,188	0	0	13,466
1991	105,719	0	0	5,547	0	0	111,266
1992	162,863	638	0	10,563	200	0	173,426
1993	178,167	2,985	0	8,425	4,023	0	186,592
1994	176,298	14,321	0	18,249	11,343	0	194,547
1995	222,855	21,174	0	64,436	24,718	0	287,291
1996	182,400	36,238	0	69,639	38,164	0	252,039
1997	193,069	42,894	0	115,270	36,175	0	308,339
1998	92,264	41,371	0	129,679	29,617	0	221,943
1999	121,604	53,736	0	211,832	45,883	0	333,437
2000	152,373	71,966	0	272,775	57,224	0	425,148
2001	176,170	72,579	0	226,787	52,345	0	402,957
2002	271,575	102,789	0	370,155	68,388	0	641,730
2003	289,252	111,639	0	434,965	73,370	0	724,217
2004	258,039	107,746	52	439,001	68,213	41,634	697,040
2005	340,281	131,226	19,794	715,472	78,503	156,943	1,055,754
2006	519,539	159,387	75,943	830,200	93,571	222,853	1,349,739
2007	765,346	204,519	101,179	1,032,550	125,393	339,498	1,797,896
2008	932,250	257,345	290,103	888,117	150,965	518,342	1,820,366
2009	934,251	254,044	417,935	744,830	155,670	522,617	1,679,082

(出所) 韓国・統一省『南北交流協力動向』2009年12月号

億円)であった。過去最高を記録した2008年と比較すると若干の減少である。

このうち、委託加工貿易、開城工業団地の取引ともに合計額では前年度比で増加した。開城工業団地の取引が増えたのは、第1段階の分譲が終了し、多くの企業が工場建設を進めているためである。主たる生産品である繊維類は搬出(輸出)の27.3%、搬入(輸入)の47.2%を、電子電気製品は搬出の33.6%、搬入の27.1%を占めている。その他、搬出では機械類(12.2%)、生活用品(5.5%)、鉄鋼金属製品(4.9%)、搬入では生活用品(9.9%)、機械類(9.4%)、プラスチック・ゴム・皮革類(2.2%)、鉄鋼金属製品(2.1%)などが主要品目である。

電子電気製品の出超傾向は、建設中の工場設備にこの品目が含まれるからである。これは貿易というよりは、本来は投資の範疇に属するものである。建材、建設機械や足場なども南から持ち込まれ、必要がなくなったり、整備を必要とするときには南に戻されるので、見かけ上の数値が大きくなる傾向にある。

(2) 人的交流

観光を除く南北間の往来を見ると、表2のとおり、南から北への訪問が12万616人、北から南への訪問が246人、合計12万862人となっており、2008年よりも6万6,000人近く減少した。観光客の訪問状況を見ると、2008年は30万3,088人であったが、開城、金剛山ともに観光が中断したので、2009年の観光客の訪問はゼロであった。

(ERINA調査研究部研究主任 三村光弘)

(表2) 2005～09年の南北間の人的交流統計(観光を除く)

(単位：人)

年	南→北	北→南	合計
2005	87,028	1,313	88,341
2006	100,838	870	101,708
2007	158,170	1,044	159,214
2008	186,443	332	186,775
2009	120,616	246	120,862
累計	653,095	3,805	656,900

(出所) 韓国・統一省『南北交流協力動向』2009年12月号